

平成24年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：資源循環コーディネーター派遣事業

事業実施予定期間：平成18年度～平成26年度

担当課室名：環境生活部環境政策課

担当班名：環境産業振興班 TEL：022-211-2664

e-mail：kankyoi@pref.miyagi.jp

URL：

1 事業の目的

循環型社会形成に必要な3R推進の仕組（組織）作りの支援、環境・リサイクル産業の育成（技術開発及び優良化の支援）及び個別企業の3R推進の支援のために活動する資源循環コーディネーター（以下「SJC」と称す。）を県内各地域に派遣して、地域毎のリサイクルの枠組み作りを進め、循環型社会の形成を推進する。

2 当該年度の実施事業の概要

企業における産業廃棄物の3R活動を推進するための以下の活動

- ・地域における3R推進のための企業連携支援（地域エコフォーラムの運営支援等）
- ・個別企業の課題解決支援
- ・県補助事業の実施支援
- ・リサイクル等事業者情報提供事業支援

3 当該年度の実施事業の成果

- ・年間企業訪問実績→329社（延べ498件）
- ・泉パークタウン工業団地内の製造業者で構成されるエコフォーラム（以下「EF」と称す。）、大崎市西部の製造業者で構成されるEF、県内でBDF製造を行う事業者で構成される連絡協議会の3か所を新設した。
- ・練製品製造事業者、製パン事業者及びレストラン納入食品加工事業者から出る食品残さを養豚と飼料製造を行う事業者の有価販売することで、食品残さの発生を抑制すると同時に飼料原料として利用するためのコーディネートを実施し、また、酒造事業者から出る食品残さを養牛と飼料製造を行う事業者の有価販売することで同様の効果を生み出すためのコーディネートを実施した。
- ・複数のEFにおいて、相互交流を図るようSJCが働きかけた結果、他EF参加企業の工場見学や、他EFの地域貢献活動事例の訪問調査などが実施された。
- ・東日本大震災で被災した産業廃棄物中間処理事業者に対し復旧費用の一部を補助するためコーディネートをすることで、これらの事業者の早期の事業再開を支援した。
- ・東日本大震災以降停止状態にあった建築エコフォーラムを再開するための支援を実施し、また、3か所の建築業協会支部において利用できる補助事業等の説明会を開催した。

4 今後の展開

各業界に応じた3R推進への支援活動，地域における3R推進のための地域エコフォーラムの運営の支援，産学連携によるリサイクル技術の共同研究開発支援及び個別企業ごとに応じた課題解決支援活動を行うことで，循環型社会の形成を推進する。

5 廃棄物の削減・リサイクル，適正処理の促進の効果等を示す指標の数値 (指標：3R活動支援件数(顕著な成果数))

単位：件

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
—	3	—	4

※ 平成24年度の数値は，泉パークタウン工業団地内の製造業者で構成されるEF，大崎市西部の製造業者で構成されるEF，県内でBDF製造を行う事業者で構成される連絡協議会の3か所を新設したこと及び東日本大震災以降停止状態にあった建築エコフォーラムを再開したことによる。

6 事業費の推移

単位：千円

平成22年度	平成23年度	平成24年度
21,071	13,745	21,970